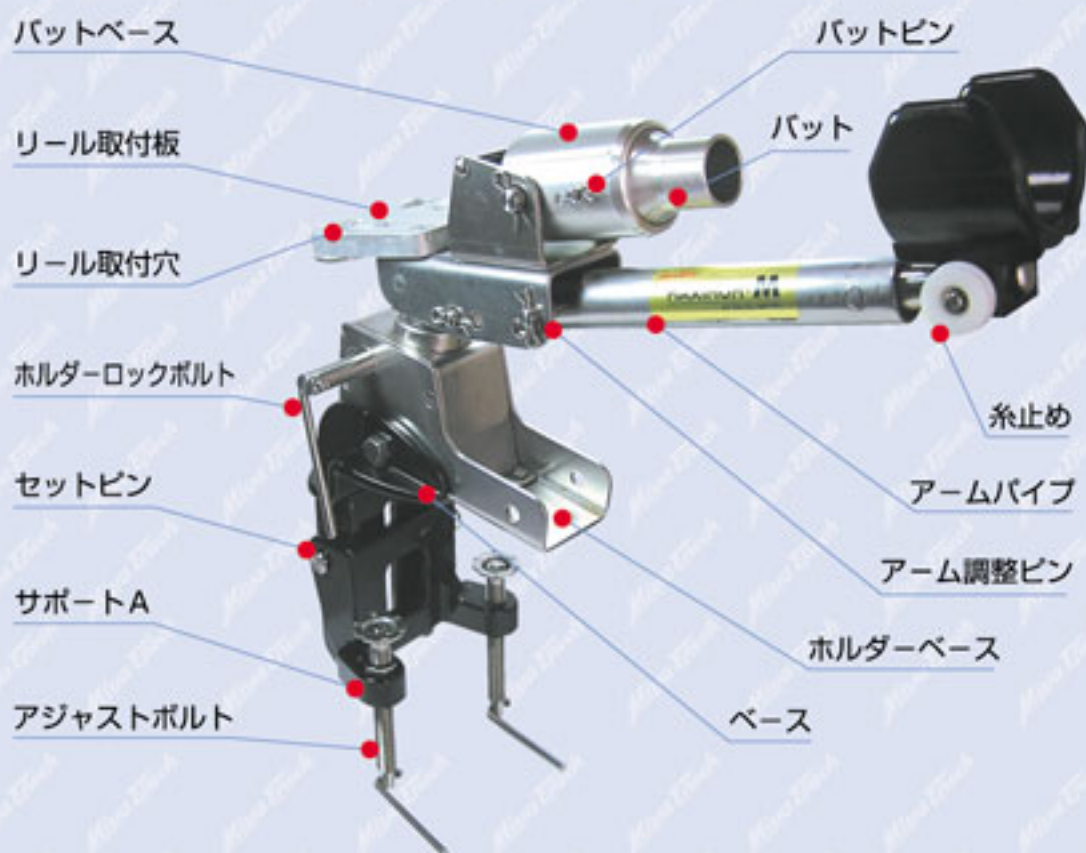


# マキシマムM取扱説明書

## 各部の名称



## 製品の特徴

- リールとロッドの取付部が分離されており、安定した動作でリールを操作することができます。また、リール操作時のガタツキは有りません。
  - ロッドの設置角が左右に約130度の範囲で調整できますので、魚の動きによるロッドのネジレやキーバーの脱落を防止します。
  - ロッドは、上下2段階の設置角を設定できます。
  - 対象ロッドは、フェルール構造の竿です。
  - フェルール受 (バット) は、11種類 (別売) 有り、各社のロッドに対応します。  
(詳しくは、別表をご参照下さい)
- \*標準では、アフコUB-2対応品が付属します。

## マキシマムMの仕様

対応ロッド	裏面参照
ロッド保持角度	2段階調整
左右動作角度	無段階左右 約130度
取付可能船べり寸法	高さ (~155mm)
重量	約4kg
税込価格	47,250円

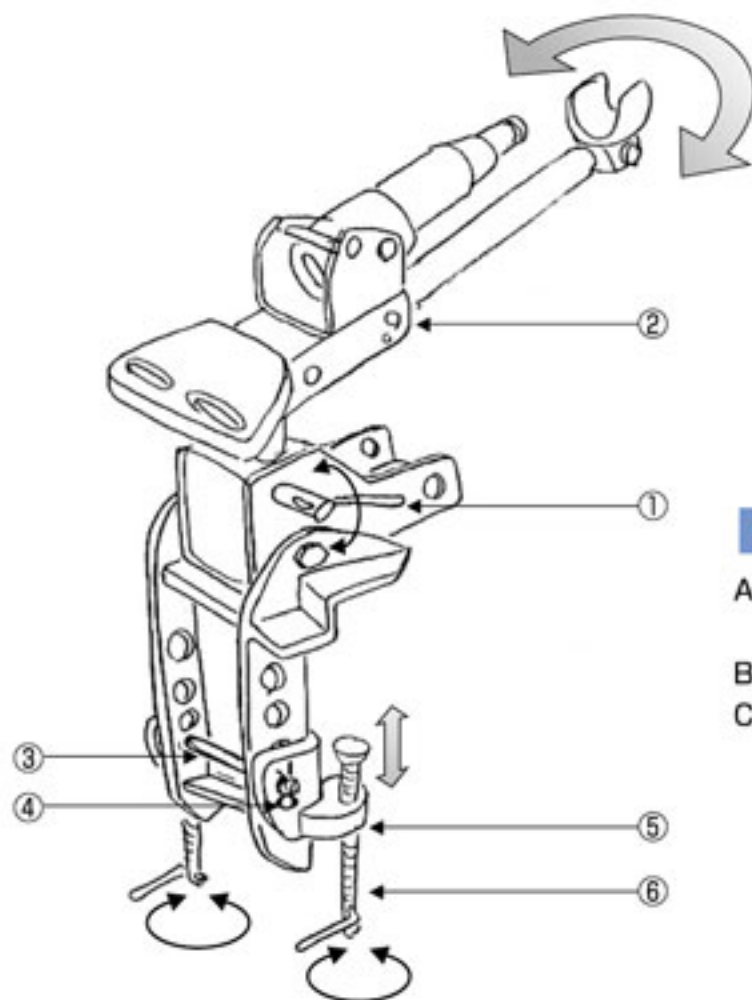
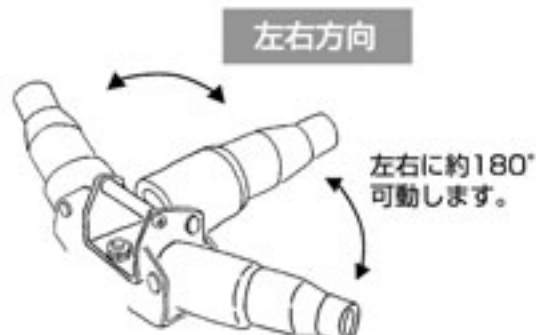
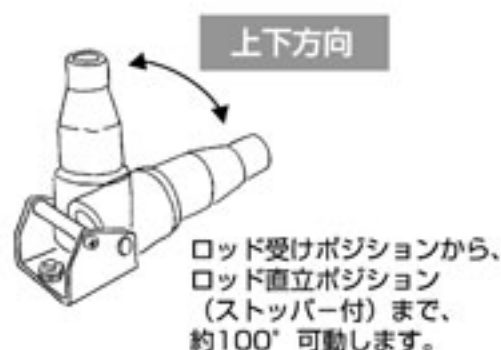
### I. リール取付ベースの左右角度調整

①ホルダーロックボルトを緩めると、②リール取付ベースは、左右に約130°可動します。適切な位置で①ホルダーロックボルトを締め込んで、②リール取付ベースを固定して下さい。



マキシマムMの移動の際は、①ホルダーロックボルトをしっかりと締め込み、脱落しない様にご注意下さい。また、リール取付部(上部)とベース部(下部)を両手で持ち運びして下さい。

### バットの可動範囲



### II. マキシマムMの取付方法

- A ④Rピンを引き抜き、③セットピンを取り外し、  
 ⑤サポートAの高さを4箇所ある穴の中から選びます。  
 B ③セットピンを挿入し、④Rピンを差し込んで下さい。  
 C ⑥アジャストボルトを締め込んで、船べりにしっかりと固定して下さい。



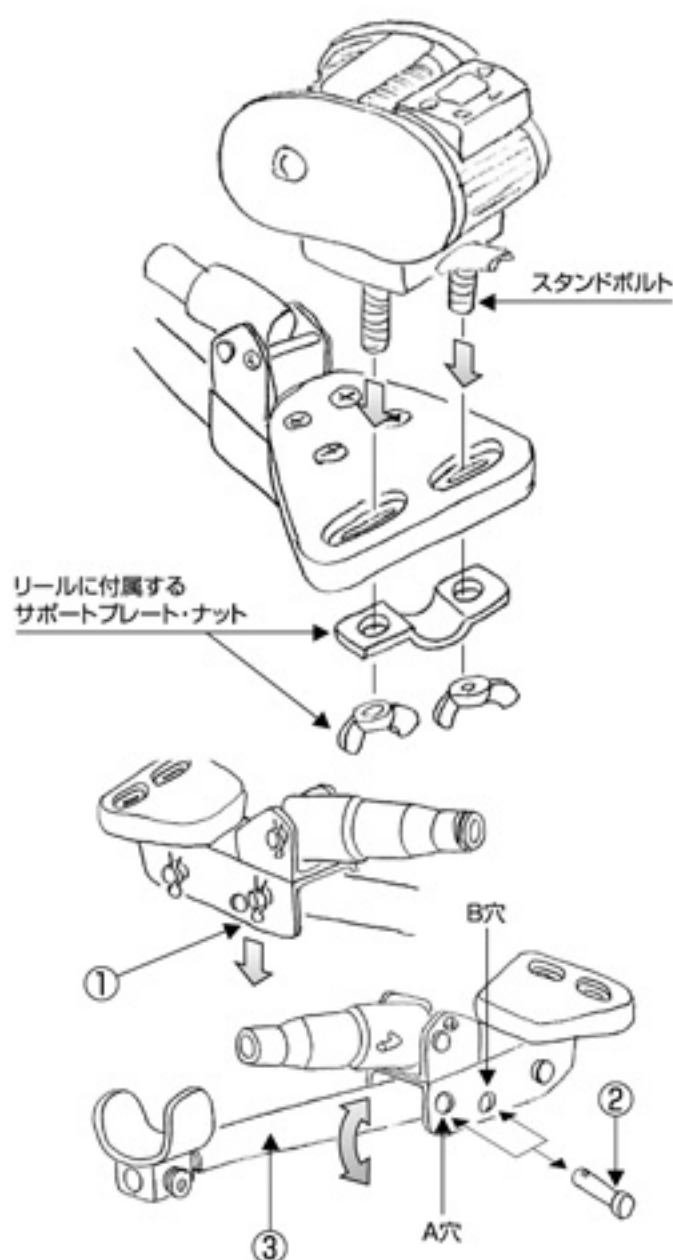
### Ⅲ. リールの取付方法

取付けるリールのスタンドボルトをリール取付板のリール取付穴に通し、裏面よりリールに付属するサポートプレート、ナットで固定します。

#### 取付可能リール

○スタンドボルト径	6mm~8mm
○スタンドボルトピッチ	20mm~60mm
○スタンドボルト長さ	30mm~50mm

\*詳しくは販売店又は、当社までお問い合わせ下さい。



### Ⅳ. アームパイプ角度の調整

- A ①Rピンを引き抜き、②アーム調整ピンを取り外します。
- B ③アームパイプを上下させ、ご希望の位置(上位置時:A穴・下位置時:B穴)で、②アーム調整ピンを挿入し①Rピンで固定します。

### Ⅴ. ロッドの取付方法

ご使用になるロッドのバット部を取外します。次にロッドの穂先をマキシマムMのバットに差込み、フェルールのミゾを合わせて確認後、ロッドのナットをしっかりと締め込んで下さい。



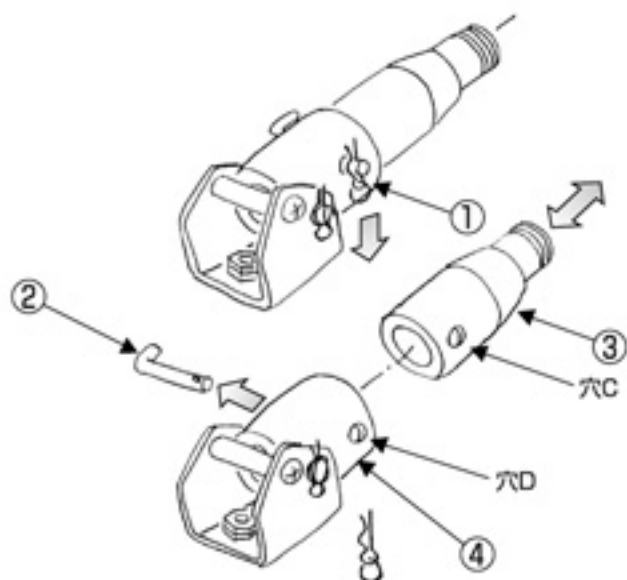
注意

- ご使用になるロッドの仕様(メーカー、製品)とマキシマムMバットの型番が同一な事をご確認の上、取付けて下さい。
- マキシマムMには、標準でアフコ社製UB-2対応のバットが装着されております。アフコ社製UB-2以外のバットをご使用になる場合は、「別売りバット対応ロッド表」をご覧の上、対応するバットをご用意下さい。

### Ⅵ. バット(フェルール受)の交換

ロッドの種類(メーカー・製品)により、対応するバット(別売)への交換が必要です。

- A ①Rピンを引き抜きます。
- B ②バットピンを引き抜きます。
- C ③バット(フェルール受)を取り外し、ご使用のロッドに対応するバット(フェルール受)を挿入します。  
\*バット(フェルール受)挿入時は、バットの穴Cと④バットベースの穴Dを合わせます。
- D ②バットピンを挿入し、①Rピンをセットします。



■オプション部品

●延長用ジョイント（取付高さ+145mm）

船べりの厚い場合にご使用下さい。

●ベースB（船べり幅32cmまで）

船べりの前方向からも、本体を押える事が可能になり、取り付け強度が向上します。

●安定板

左右方向への倒れ防止

\*ベースBと安定板の同時使用は、出来ません。



延長用ジョイント



ベースB



安定板

製造販売元



株式会社 **ミヤマエ**

■ミヤエポック部 〒577-0023 大阪府東大阪市荒本1-2-32 TEL(06)6782-1010

■東京営業所 〒144-0051 東京都大田区西蒲田5丁目27番5号 TEL(03)3731-7100

URL <http://www.miyamae.co.jp/>